



2022年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年4月8日

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス
 コード番号 3063 URL <http://www.jgroup.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 林 芳郎

TEL 052-243-0026

定時株主総会開催予定日 2022年5月26日

有価証券報告書提出予定日 2022年5月27日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期の連結業績(2021年3月1日～2022年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|-------|------|-------|---|-------|---|-----------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年2月期 | 4,703 | 29.8 | 1,888 | | 1,900 | | 602 | |
| 2021年2月期 | 6,700 | 52.8 | 1,543 | | 1,465 | | 2,352 | |

(注) 包括利益 2022年2月期 656百万円 (%) 2021年2月期 2,360百万円 (%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円銭 | 円銭 | % | % | % |
| 2022年2月期 | 63.31 | | 120.2 | 17.5 | 40.1 |
| 2021年2月期 | 249.33 | | 189.0 | 13.1 | 23.0 |

(参考) 持分法投資損益 2022年2月期 百万円 2021年2月期 百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 2022年2月期 | 10,743 | 891 | 8.1 | 46.01 |
| 2021年2月期 | 10,931 | 214 | 1.3 | 14.27 |

(参考) 自己資本 2022年2月期 865百万円 2021年2月期 137百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年2月期 | 674 | 1,430 | 689 | 2,249 |
| 2021年2月期 | 114 | 639 | 1,929 | 2,313 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 百万円 | % | % |
| 2021年2月期 | | 1.50 | | 0.00 | 1.50 | 14 | | 1.1 |
| 2022年2月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 | | | |
| 2023年2月期(予想) | | | | | | | | |

2023年2月期の配当予想につきましては、現在、世界的に広がる新型コロナウイルスの影響が現時点では先が見えず、合理的な配当予想の判断が困難なことから、未定とします。

3. 2023年2月期の連結業績予想(2022年3月1日～2023年2月28日)

2023年2月期の連結業績予想につきましては、現在、新型コロナウイルスの第6波の影響により、適正かつ合理的な業績予想の判断が困難なことから未定としておりますが、現在精査中であり、今後、合理的な予想可能となった時点で速やかに公表します。なお、詳細につきましては添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) NEW FIELD HONOLULU,INC
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年2月期 | 9,897,400 株 | 2021年2月期 | 9,821,200 株 |
| 期末自己株式数 | 2022年2月期 | 200,153 株 | 2021年2月期 | 200,153 株 |
| 期中平均株式数 | 2022年2月期 | 9,697,247 株 | 2021年2月期 | 9,434,745 株 |

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| (5) 継続企業の前提に関する重要事象等 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (追加情報) | 13 |
| (セグメント情報等) | 14 |
| (1株当たり情報) | 19 |
| (重要な後発事象) | 19 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴うまん延防止等重点措置が全国的に解除されたことにより、経済活動の制限が緩和され、人流も徐々に回復傾向となりました。一方で、直近では変異株発生に伴い今後の消費動向については一進一退の状態が続いており、依然として先行き不透明な状態が続いております。

外食産業におきましては、ワクチン接種が進み消費者のライフスタイルの変化によりテイクアウトやデリバリー需要が増加したことにより、外食需要の回復のテンポが弱まっており依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様や店舗スタッフへの安全面等を考慮し、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除された後店舗の営業を順次正常化しています。また、人員配置の適正化や生産性の向上、本社費用の削減に引き続き取り組むとともにアフターコロナを見据えた業態開発に注力いたしました。当連結会計年度の直営店の出退店におきましては、8店舗を新規出店し、12店舗をリニューアルし、21店舗を閉店いたしました。これらにより、2022年2月末日現在の業態数及び店舗数は、75業態130店舗(国内128店舗、海外2店舗)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を背景にした緊急事態宣言、まん延防止等重点措置および自治体からの時短営業や休業の要請などの影響を大きく受けたことにより4,703百万円(前年同期比29.8%減)となりました。売上高減少に伴い徹底したコスト管理を実施したものの営業損失は1,888百万円(前年同期は営業損失1,543百万円)となりました。また、特別利益として雇用調整助成金や休業協力金等の助成金収入2,559百万円、特別損失として営業自粛期間における店舗運営にかかる固定費等を1,133百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は602百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失2,352百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲食事業

飲食事業におきましては、お客様の利便性や満足度の向上を図るべく、飲み放題の定額サービスやドミナント展開を活かした当社グループ店舗間での出前サービスに取り組みました。直営店舗の状況としては、2021年6月「焼肉人類」「まきびし」(愛知県刈谷市)、7月「華・桐」(名古屋市中区)、「博多かわ屋」(札幌市中央区)、8月「大阪王将」(名古屋市北区)、9月「博多かわ屋」(静岡県葵区)、2022年2月「Private Sauna EXIT」(名古屋市中区)を新規オープンいたしました。

2021年4月に「八光」(京都府中京区)を「寿司と天ぷらとわたくし」、「沖縄料理58」(東京都渋谷区)を「サーモンパンチ」、5月に「MOUMOUバル」(静岡市葵区)を「サーモンパンチ」、6月「芋蔵BAR GIRI」(名古屋市中区)を「昔の矢場とん」、「PIT TAVERN」(名古屋市中区)を「メンタイキック」、「凧」(愛知県刈谷市)を「あげ松」、「芋蔵」(愛知県刈谷市)を「モツハラ」、「MOU MOU」(愛知県豊田市)を「サーモンパンチ」、7月「博多かわ屋」(東京都豊島区)を「サーモンパンチ」、11月「REGOLITH」(名古屋市中区)を「かまくらハンバーグスタンド」、「博多かわ屋」(仙台市青葉区)を「鶏が好きだと酒びたい」にリニューアルオープンいたしました。

また、2021年3月に「跳魚別館」、「芋蔵」(東京都港区)、「はかた屋」(名古屋市中村区)、「てしごと家」、「博多かわ屋」、「バーJD」、「京おでんBAR袖〜つむぎ〜」(名古屋市中区)、4月に「野球BAR ダイヤモンド」(名古屋市中区)、5月に「てしごと家」、「なもバー」(東京都港区)、「てしごと家」(横浜市中区)、7月「博多かわ屋」、「ほっこり」(静岡市葵区)、8月「ほっこり」(東京都中央区)、9月「THE WHISKY BAR EXIT」(名古屋市中区)、10月「二六丸」(名古屋市中区)、「芋蔵」(兵庫県姫路市)、11月「三枘三蔵はなれ」(仙台市青葉区)、「博多かわ屋」(東京都千代田区)、2022年2月「山田チカラHonolulu」(米国ハワイ州)を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高3,184百万円(前年同期比6.0%減)、営業損失は1,173百万円(前年同期は営業損失1,857百万円)となりました。

② 不動産事業

テナントビル「EXIT NISHIKI」や「jG金山」などの賃貸収入が安定的な収益に寄与いたしました。前期の不動産売却と当期の「ジュール亀島」(名古屋市中村区)を売却した影響を大きく受けました。

その結果、不動産事業における売上高2,052百万円(前年同期比52.6%減)、営業利益は158百万円(同86.9%減)となりました。

③ プライダル事業

前年同期に比べ婚礼の施工組数や受注残数においては一定程度の回復の兆しは見られたものの新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けました。

その結果、ブライダル事業における売上高は257百万円(前年同期比3.1%減)、営業損失は63百万円(前年同期は営業損失109百万円)となりました。

④ その他の事業

卸売業及びサービスエリア事業等のその他の事業における売上高は430百万円(前年同期比152.0%増)、営業損失は49百万円(前年同期は営業損失5百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は10,743百万円(前連結会計年度末比187百万円減少)となり、負債は9,852百万円(同864百万円減少)、純資産は891百万円(同676百万円増加)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ485百万円減少し2,927百万円となりました。これは、未収入金が428百万円減少したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ302百万円増加し7,811百万円となりました。これは、本社ビルの取得等により有形固定資産が564百万円増加したことが主な要因であります。

繰延資産につきましては、社債発行費が5百万円減少し4百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ426百万円減少し2,784百万円となりました。これは、未払法人税等が236百万円、1年内返済予定の長期借入金が167百万円減少したことが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ438百万円減少し7,067百万円となりました。これは、長期借入金が362百万円減少したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ676百万円増加し891百万円となりました。これは、A種種類株式及びB種種類株式の発行により資本金の額及び資本準備金の額がそれぞれ650百万円増加したこと、当期純損失の計上により利益剰余金が602百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが674百万円(前年同期比490.0%増)の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが1,430百万円(同123.8%増)の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが689百万円(同64.2%減)の資金増となりました。

その結果、当連結会計年度末の資金残高は2,249百万円となり、前連結会計年度末の2,313百万円に比べ64百万円減少しております。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は674百万円(前年同期比490.0%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失を648百万円、減価償却費を269百万円、助成金収入を2,559百万円計上し、助成金の受取額が2,924百万円、法人税等の支払額が214百万円、有形固定資産からたな卸資産への振替が559百万円あったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は1,430百万円(前年同期比123.8%増)となりました。これは主に、本社ビルの取得等による有形固定資産の取得による支出が1,605百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は689百万円(前年同期比64.2%減)となりました。これは主に、株式の発行による収入が1,334百万円、長期借入れによる収入が707百万円、長期借入金の返済による支出が1,239百万円あったことなどによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきまして、コロナとの共存を見据えた生活スタイルの変化に伴い、業態開発等の既存店収益強化や組織改革等の収益構造改革を引き続き進めていく方針であります。2022年1月頃から新たな変異株が感染拡大し消費活動への影響が多分に生じております。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染防止対策として、店内に消毒液を設置するとともに、テ

ーブルやイス、ドアノブ等、お客様やスタッフの触れる場所を定期的に消毒し、マスクを着用してのご対応や店舗スタッフの検温等の体調管理、手洗いやうがいの徹底等を実施して営業してまいりました。アフターコロナを見据えて、より一層競争力を強化していくための対策を着実に実行して参ります。

これらの環境下におきまして、新型コロナウイルス収束の時期は未だ不透明であり、経済活動への影響を現時点では予測できない状況となっております。つきましては、現時点におきまして、次期の連結業績を予想することは困難であると判断し、未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルスの感染拡大収束の見通しがつき、業績への影響が合理的に予想可能となった時点で、速やかに公表いたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策に伴う休業・営業時間短縮の影響により、前連結会計年度と当連結会計年度において営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上いたしました。これにより、金融機関と締結した金銭消費貸借契約における財務制限条項に抵触しており、当該財務制限条項が適用された場合、資金繰りに影響が生じ、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象が存在しております。

しかしながら、事業面においては、当社グループにおける収益力向上のための施策を実施することにより収益を確保していくとともに、売上原価や人員配置等の見直しや業務効率化等による人件費や業務委託費のコスト削減に注力し、早期に経常利益を計上し、当該重要事象等が早期に解消されるよう取組んでまいります。

また、手元資金も十分確保しており、当面の資金状況は安定的に推移する見通しであります。財務制限条項に抵触しましたが、借入先の金融機関に期限の利益喪失に関わる事項を適用することなく、当該契約を継続するように申し入れております。

以上の事から、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、今後の I F R S (国際財務報告基準) の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年2月28日) | 当連結会計年度 (2022年2月28日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,320,856 | 2,259,031 |
| 売掛金 | 66,023 | 92,952 |
| 未収入金 | 649,134 | 220,527 |
| 未収還付法人税等 | — | 77,305 |
| たな卸資産 | 163,446 | 94,525 |
| その他 | 213,975 | 217,765 |
| 貸倒引当金 | — | △34,194 |
| 流動資産合計 | 3,413,435 | 2,927,912 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,568,222 | 2,379,878 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 200,693 | 209,978 |
| 土地 | 2,858,315 | 3,620,761 |
| リース資産(純額) | 102,967 | 85,844 |
| 建設仮勘定 | 363 | — |
| その他(純額) | 4,741 | 2,956 |
| 有形固定資産合計 | 5,735,303 | 6,299,419 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 413,233 | 377,305 |
| その他 | 20,289 | 12,211 |
| 無形固定資産合計 | 433,522 | 389,517 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,330 | 7,330 |
| 差入保証金 | 1,171,051 | 989,701 |
| 繰延税金資産 | 6,324 | — |
| その他 | 157,525 | 127,520 |
| 貸倒引当金 | △2,675 | △2,300 |
| 投資その他の資産合計 | 1,339,555 | 1,122,250 |
| 固定資産合計 | 7,508,381 | 7,811,187 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 9,733 | 4,451 |
| 繰延資産合計 | 9,733 | 4,451 |
| 資産合計 | 10,931,549 | 10,743,551 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年2月28日) | 当連結会計年度 (2022年2月28日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 49,659 | 70,690 |
| 短期借入金 | 558,767 | 505,311 |
| 1年内償還予定の社債 | 30,000 | 20,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 835,076 | 667,249 |
| 未払金 | 773,966 | 913,141 |
| リース債務 | 27,972 | 10,398 |
| 未払法人税等 | 244,897 | 8,368 |
| 未払消費税等 | 168,604 | 27,425 |
| 株主優待引当金 | 6,660 | 6,764 |
| 資産除去債務 | — | 27,392 |
| 預り金 | 360,938 | 395,732 |
| その他 | 154,022 | 132,071 |
| 流動負債合計 | 3,210,565 | 2,784,546 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 335,000 | 315,000 |
| 長期借入金 | 6,142,152 | 5,779,516 |
| リース債務 | 12,199 | 1,800 |
| 繰延税金負債 | 582,381 | 659,118 |
| 資産除去債務 | 96,575 | 70,514 |
| その他 | 338,365 | 241,819 |
| 固定負債合計 | 7,506,673 | 7,067,770 |
| 負債合計 | 10,717,238 | 9,852,316 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,594,287 | 50,000 |
| 資本剰余金 | 1,518,259 | 4,397,652 |
| 利益剰余金 | △2,887,100 | △3,489,693 |
| 自己株式 | △76,122 | △76,122 |
| 株主資本合計 | 149,324 | 881,836 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | △12,043 | △16,606 |
| その他の包括利益累計額合計 | △12,043 | △16,606 |
| 新株予約権 | 1,681 | — |
| 非支配株主持分 | 75,348 | 26,004 |
| 純資産合計 | 214,310 | 891,234 |
| 負債純資産合計 | 10,931,549 | 10,743,551 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日) | 当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 6,700,762 | 4,703,780 |
| 売上原価 | 3,120,656 | 2,174,142 |
| 売上総利益 | 3,580,105 | 2,529,638 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,123,260 | 4,417,798 |
| 営業損失(△) | △1,543,155 | △1,888,160 |
| 営業外収益 | | |
| 為替差益 | — | 16,896 |
| 金利スワップ評価益 | 94,756 | 19,621 |
| 協賛金収入 | 84,338 | 46,187 |
| 設備賃貸料 | 5,988 | 1,823 |
| その他 | 23,275 | 34,489 |
| 営業外収益合計 | 208,358 | 119,018 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 93,651 | 91,379 |
| 為替差損 | 14,654 | — |
| 賃貸費用 | 13,613 | 11,352 |
| その他 | 8,566 | 28,559 |
| 営業外費用合計 | 130,486 | 131,291 |
| 経常損失(△) | △1,465,283 | △1,900,433 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 672 | 1,439 |
| 受取保険金 | — | 31,525 |
| 関係会社株式売却益 | — | 24,318 |
| 助成金収入 | 1,018,515 | 2,559,611 |
| 特別利益合計 | 1,019,188 | 2,616,894 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 704 | — |
| 固定資産除却損 | 2,627 | 600 |
| 貸倒損失 | — | 34,194 |
| 店舗閉鎖損失 | 148,370 | 105,571 |
| 減損損失 | 597,119 | 27,944 |
| 店舗臨時休業による損失 | 1,013,315 | 1,133,843 |
| 商品評価損 | — | 62,956 |
| 特別損失合計 | 1,762,136 | 1,365,110 |
| 税金等調整前当期純損失(△) | △2,208,232 | △648,648 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 136,469 | 7,966 |
| 法人税等還付税額 | — | △87,741 |
| 法人税等調整額 | 40,729 | 83,062 |
| 法人税等合計 | 177,198 | 3,287 |
| 当期純損失(△) | △2,385,430 | △651,936 |
| 非支配株主に帰属する当期純損失(△) | △33,031 | △49,343 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | △2,352,399 | △602,592 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日) | 当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日) |
|--------------|--|--|
| 当期純損失(△) | △2,385,430 | △651,936 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 25,006 | △4,562 |
| その他の包括利益合計 | 25,006 | △4,562 |
| 包括利益 | △2,360,424 | △656,499 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △2,327,392 | △607,155 |
| 非支配株主に係る包括利益 | △33,031 | △49,343 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|---------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,524,162 | 1,448,134 | △506,630 | △76,122 | 2,389,543 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 67,870 | 67,870 | | | 135,740 |
| 新株の発行(新株予約権の行使) | 2,255 | 2,255 | | | 4,510 |
| 剰余金の配当 | | | △28,070 | | △28,070 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | △2,352,399 | | △2,352,399 |
| 資本金から剰余金への振替 | | | | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | 70,125 | 70,125 | △2,380,469 | - | △2,240,219 |
| 当期末残高 | 1,594,287 | 1,518,259 | △2,887,100 | △76,122 | 149,324 |

| | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|-------------|---------------|--------|---------|------------|
| | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | △37,050 | △37,050 | 6,192 | 108,379 | 2,467,064 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | 135,740 |
| 新株の発行(新株予約権の行使) | | | | | 4,510 |
| 剰余金の配当 | | | | | △28,070 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | | | △2,352,399 |
| 資本金から剰余金への振替 | | | | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 25,006 | 25,006 | △4,510 | △33,031 | △12,534 |
| 当期変動額合計 | 25,006 | 25,006 | △4,510 | △33,031 | △2,252,753 |
| 当期末残高 | △12,043 | △12,043 | 1,681 | 75,348 | 214,310 |

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|------------|-----------|------------|---------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,594,287 | 1,518,259 | △2,887,100 | △76,122 | 149,324 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 650,000 | 650,000 | | | 1,300,000 |
| 新株の発行(新株予約権の行使) | 17,552 | 17,552 | | | 35,105 |
| 剰余金の配当 | | | | | - |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | △602,592 | | △602,592 |
| 資本金から剰余金への振替 | △2,211,840 | 2,211,840 | | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | △1,544,287 | 2,879,393 | △602,592 | - | 732,512 |
| 当期末残高 | 50,000 | 4,397,652 | △3,489,693 | △76,122 | 881,836 |

| | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|-------------|---------------|--------|---------|-----------|
| | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | △12,043 | △12,043 | 1,681 | 75,348 | 214,310 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | 1,300,000 |
| 新株の発行(新株予約権の行使) | | | | | 35,105 |
| 剰余金の配当 | | | | | - |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | | | △602,592 |
| 資本金から剰余金への振替 | | | | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △4,562 | △4,562 | △1,681 | △49,343 | △55,588 |
| 当期変動額合計 | △4,562 | △4,562 | △1,681 | △49,343 | 676,924 |
| 当期末残高 | △16,606 | △16,606 | - | 26,004 | 891,234 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日) | 当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純損失 (△) | △2,208,232 | △648,648 |
| 減価償却費 | 353,357 | 269,557 |
| 減損損失 | 597,119 | 27,944 |
| のれん償却額 | 35,760 | 35,468 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △4,969 | 33,819 |
| 株主優待引当金の増減額 (△は減少) | 137 | 104 |
| 受取利息及び受取配当金 | △177 | △578 |
| 支払利息 | 93,651 | 91,379 |
| 金利スワップ評価損益 (△は益) | △94,756 | △19,621 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | 31 | △1,439 |
| 固定資産除却損 | 2,627 | 600 |
| 関係会社株式売却益 | — | △24,318 |
| 助成金収入 | △1,018,515 | △2,559,611 |
| 受取保険金 | — | △31,525 |
| 為替差損益 (△は益) | 14,654 | △16,896 |
| 店舗閉鎖損失 | 148,370 | 105,571 |
| 店舗臨時休業による損失 | 83,075 | 97,328 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 242,501 | △57,260 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 42,483 | 68,990 |
| 有形固定資産からたな卸資産への振替 | 1,568,585 | 559,094 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △340,051 | 20,801 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 19,687 | 39,213 |
| その他 | 56,682 | 33,540 |
| 小計 | △407,977 | △1,976,486 |
| 利息及び配当金の受取額 | 176 | 575 |
| 保険金の受取額 | — | 31,525 |
| 助成金の受取額 | 582,306 | 2,924,754 |
| 利息の支払額 | △93,721 | △91,549 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | 33,448 | △214,811 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 114,232 | 674,008 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額 (△は増加) | △7,200 | △2,600 |
| 貸付けによる支出 | △1,470 | △36,519 |
| 貸付金の回収による収入 | 6,970 | 8,834 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △699,506 | △1,605,748 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 8,790 | 1,600 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △3,199 | △829 |
| 差入保証金の差入による支出 | △19,808 | △56,983 |
| 差入保証金の回収による収入 | 87,189 | 235,323 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 | — | 33,000 |
| その他 | △10,953 | △6,316 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △639,187 | △1,430,240 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日) | 当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 477,455 | △53,456 |
| 長期借入れによる収入 | 3,230,629 | 707,400 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,811,126 | △1,239,464 |
| リース債務の返済による支出 | △46,995 | △27,972 |
| 社債の償還による支出 | △30,000 | △30,000 |
| 新株予約権の取得による支出 | — | △950 |
| 株式の発行による収入 | 137,378 | 1,334,374 |
| 配当金の支払額 | △28,070 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,929,270 | 689,930 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 122 | 1,876 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,404,438 | △64,425 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 909,217 | 2,313,655 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,313,655 | 2,249,230 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経済活動が抑制されるなど厳しい状況で推移しました。新型コロナウイルス対策としてのワクチン接種が進んだこと等により、経済活動にも一部に明るい兆しはあるものの、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返し発令されたことで、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、固定資産の減損損失の認識判定・測定に利用する計画は、新型コロナワクチンの接種が早期に進められている状況を勘案し、新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に収束に向かい、翌連結会計年度の下期以降の売上高は概ね感染拡大前の水準近くまで回復すると仮定しております。なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であり、影響が長期化し、上述の仮定が見込まれなくなった場合には、将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、居酒屋、レストランなどの飲食事業を中心に、不動産事業、ブライダル事業等の複数の事業を営んでおり、その事業区分ごとに当社及び当社の連結子会社が単一もしくは複数の事業に従事する事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業別のセグメントから構成されており、「飲食事業」、「不動産事業」及び「ブライダル事業」の3つを報告セグメントとしております。

「飲食事業」は、居酒屋、レストラン等での飲食サービスを提供しております。「不動産事業」は、不動産の賃貸・管理業務を行っております。「ブライダル事業」は挙式・披露宴サービスを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|-------------------------------|------------|-----------|----------|-----------|--------------|-----------|--------------|----------------------------|
| | 飲食 | 不動産 | ブライダル | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への 売上高 | 3,344,827 | 2,928,082 | 265,756 | 6,538,665 | 162,096 | 6,700,762 | — | 6,700,762 |
| (2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 42,416 | 1,397,307 | 1 | 1,439,725 | 8,790 | 1,448,515 | △1,448,515 | — |
| 計 | 3,387,243 | 4,325,390 | 265,757 | 7,978,391 | 170,886 | 8,149,278 | △1,448,515 | 6,700,762 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | △1,857,552 | 1,207,989 | △109,362 | △758,926 | △5,026 | △763,952 | △779,202 | △1,543,155 |
| セグメント資産 | 3,653,140 | 5,107,264 | 239,594 | 8,999,999 | 76,384 | 9,076,383 | 1,855,165 | 10,931,549 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 343,292 | 63,779 | 21,339 | 428,411 | 454 | 428,865 | 8,072 | 436,938 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額 | 369,346 | 1,309,014 | 3,791 | 1,682,151 | 1,061 | 1,683,213 | — | 1,683,213 |

注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△779,202千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) セグメント資産の調整額1,855,165千円は、全社資産であります。

全社資産の主なものは当社の余資運用資金及び管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額は、本社管理部門の資産に係るものであります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 連結 財務諸表 計上額 (注)3 |
|-------------------------------|------------|-----------|---------|------------|-------------|------------|-------------|---------------------------|
| | 飲食 | 不動産 | ブライダル | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への 売上高 | 3,148,672 | 884,670 | 257,558 | 4,290,901 | 412,879 | 4,703,780 | — | 4,703,780 |
| (2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 35,843 | 1,167,605 | — | 1,203,448 | 17,744 | 1,221,193 | △1,221,193 | — |
| 計 | 3,184,515 | 2,052,275 | 257,558 | 5,494,350 | 430,623 | 5,924,974 | △1,221,193 | 4,703,780 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △1,173,904 | 158,721 | △63,190 | △1,078,372 | △49,880 | △1,128,253 | △759,906 | △1,888,160 |
| セグメント資産 | 2,199,657 | 6,244,451 | 68,575 | 8,512,683 | 314,016 | 8,826,699 | 1,916,851 | 10,743,551 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 246,794 | 96,509 | 20,430 | 363,735 | 2,198 | 365,933 | 7,222 | 373,156 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額 | 431,245 | 970,229 | 511 | 1,401,986 | 106,207 | 1,508,193 | 1,984 | 1,510,178 |

注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販促制作事業、卸売業、人材派遣業及びサービスエリア事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△759,906千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) セグメント資産の調整額1,916,851千円は、全社資産であります。

全社資産の主なものは当社の余資運用資金及び管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額は、本社管理部門の資産に係るものであります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント資産のうち、飲食のセグメント資産には飲食店舗に係る固定資産882,988千円が含まれていません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客に対する売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客に対する売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

| | 飲食 | 不動産 | ブライダル | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|---------|-----|-------|-----|-------|---------|
| 減損損失 | 597,119 | — | — | — | — | 597,119 |

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

| | 飲食 | 不動産 | ブライダル | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|--------|-----|-------|-----|-------|--------|
| 減損損失 | 27,944 | — | — | — | — | 27,944 |

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

| | 飲食 | 不動産 | ブライダル | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|-------|---------|---------|-------|-----|-------|---------|
| 当期償却額 | 29,547 | 6,212 | — | — | — | 35,760 |
| 当期末残高 | 302,962 | 110,270 | — | — | — | 413,233 |

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

| | 飲食 | 不動産 | ブライダル | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|-------|---------|---------|-------|-----|-------|---------|
| 当期償却額 | 29,256 | 6,212 | — | — | — | 35,468 |
| 当期末残高 | 273,247 | 104,058 | — | — | — | 377,305 |

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| 前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日) | | 当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日) | |
|--|---------|--|--------|
| 1株当たり純資産額 | 14円27銭 | 1株当たり純資産額 | △46円1銭 |
| 1株当たり当期純損失 | 249円33銭 | 1株当たり当期純損失 | 63円31銭 |
| 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | — | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | — |

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日) | 当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純損失 | 249円33銭 | 63円31銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円) | △2,352,399 | △602,592 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | 11,369 |
| (うち優先配当額(千円)) | — | (11,369) |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円) | △2,352,399 | △613,962 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 9,434,745 | 9,697,247 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 当期純利益調整額(千円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | — | — |
| (うち新株予約権) | — | — |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | — | — |

(重要な後発事象)

(感染拡大防止対策協力金)

当社および当社グループは、飲食店舗等の休業・営業時間の短縮等に係る自治体からの要請に応じ、協力金の申請をしております。

当連結会計年度の要請に対応する協力金のうち、当期末時点から実務的に集計可能な2022年4月7日までの期間に申請された協力金の金額は86,031千円であり、翌期以降に受給予定です。